

羽島市立中央小学校で防災講座を行いました

1月15日（月）、羽島市立中央小学校で約800名の全校児童に防災講座を行いました。
 今回の講座は校長室から教室へ向けてライブ配信形式で行いました。

講座では、伊勢湾台風やこの地域でも被害があった昭和51年9.12豪雨災害など過去に発生した水害などを学び、映像で浸水を擬似体験し、自分の住んでいる地域の浸水リスクを確認することや、浸水する前の早めの避難の大切さなどについて、説明しました。

児童からは「災害が起きる前に食料などを備えておきたい」「水害が起きた場合は、すぐに避難して、高台などに行って、命を守りたい」との感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。この講座の様子はNHKに取材いただきました。

